

令和7年度 第1回 白老町子育て講座 こどものできないには理由がある ～カラダと心の発達の順番～

はったつやさん 北原 辰也 氏

9月27日に開催した講座には、子育て中のお父さんお母さんをはじめ、保育士さんや子育て支援関係者32名の参加がありました。

講座では子どものカラダの【のびしろ】を増やす具体的な方法や親の心構えについて話をしてくれました。



★ トンネル遊び



- 子どもの成長は、体の動き⇒言語⇒学習⇒コミュニケーションの順です。「言葉が出ない。」時には、まず動きを観察してあげてください。

- 親がトンネルを作り、子どもが山（体）を越えて、潜る。高さ（体）を低くしたら、子どもはどうやったらトンネルを通れるかを自ら考え、行動することが大切になります。

決して保護者からは保護者側から「こうした方がいい。」などのヒントは出さないことが大切



★ 便利な生活になることで..

- 感染症等により、蛇口を捻らなくてもよくなりました。またドアノブを回さなくても扉の開け閉めも自動でできるようになりました。その結果手首をひねる動きが減ったことが要因と思われるペットボトルが開けられない。ドライバでネジを回すことができない子どもが増えています。

★ 保護者の勘を信じて

- 今の時代情報が多すぎる。保護者は疲弊しており、自分の力に自信をなくしてしまっているのではないかと感じています。

- 保護者から発達についての相談があれば、専門職として回答はしていますが、継続的に子どもを見ているわけではないので、判断は保護者の勘を信じて欲しい。

- 子どもの成長で比べていいのは過去とこれから。他の子どもと比べるものではない。

- 保護者の困りごとは、その子にとってののびしろかもしれない。

- 子どものことを信じているから、できないことがストレスになる。子育てに大正解はないので、もがいたり模索し続けたり、何回失敗しても、ちょうどいいが見つかるはずです。また、保護者自身も自分の失敗を許せるようになることが大切です。



★ 肌の触れ合い

- ・笑顔は楽しい時にでます。ただ、笑う機会が少ないと上手く笑うことができないこともあるので、上手く笑えていないと感じた時には頬を触ってあげて欲しい。触れることで、体と脳が育ちます。
- ・全身に覆いかぶさるぐらいに毎日毎日触れてあげて欲しい。特に背中など、子どもが見えない部分を触ってあげて欲しい。



参加者の感想

- ★【課題】は【のびしろ】「おかあさんの勘を信じてください。」
カラダと心の発達に重要な乳幼児期に携わっている者として、たくさん学びました。
- ★お話を聞いていて、自分の子も左右盲なのかなと思いました。ただだらしないだけ、適当なだけだと思って子どもに注意してきたことが、もしかすると発達が充分ではなかったのかもしれないとはっとしました。年齢的にできていて当たり前だろうと思い込まずに子ども自身の発達に目を向けていきたいです。ありがとうございました。
- ★小学校中学年・高学年になると「触れる」ことの難しさは思うのですが、今日の先生の話聞き、その「大切さ」をより感じたので日々の積み重ねで取り組んでいきたいと思います。ありがとうございます。
- ★子どもの発達について悩むことが多かった中で、いかに自分が他の子と比べて不安だったかを感じました。今回の内容を聞いて過去よりも子どもが色々できるようになっていることを再認識しました。できることからコツコツと、子どもとできるように楽しんでできればと思います。
- ★肌に触れられていると安心するようになる。肌もアップデートされる。もっと触れた方が良いのだなと思った。ありがとうございました。
- ★子どものできないことに諦めそうになることが多かったですが、子どもの力を信じてあげたいと思いました。子どもがストレスにならない程度にどう関わって良いのか、どのぐらいの時間をかけたら良いのかを知りたい気持ちがあります。学校や習いごとから疲れて帰ってくるので、どのぐらいの事を自分でさせて良いのかを悩んだりしています。トンネル遊びはやってみたいと思いました。



年明け1月に親子で絵本を楽しむイベントを企画しています。

絵本に触れたり、読み聞かせなどの予定です。

詳細は追ってご案内いたしますので、ぜひご参加ください。



～いつでも・どこでも・速やかに、子育て情報届けます～

相談・講師派遣、家庭教育支援活動についてのお問合せはこちらまで

★訪問型家庭教育支援員

090-1528-9018

または

★白老町健康子育て課

0144-85-2021